# JGS 関東 新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会 第 15 回 議事録

■日 時:2021年3月17日(月)14:00~17:00

■場 所: Web 会議 (Zoom)

■出席者: 桑原(パイルフォーラム)、青木(竹中)、加倉井(パイルフォーラム)、阿部(東京 ソイル)、柏(国総研)、片山(東邦地下工機)、小坂井(MFR)、西(安藤ハザマ)、三 反畑(安藤ハザマ)、古垣内(東急)、張(東急)、嶋田(大林)、森(熊谷)、福田(戸田)、長澤(清水)、栗本(清水)、原(西松)、伊藤(東亜)、小林(大成)、高岡(三井住友)、梶野(長谷工)、土屋(竹中)、宮本(東洋テクノ)、木谷(三谷セキサン)、 田中(大洋基礎)、小川(旭化成)、細田(ジャパンパイル)、山下(不動テトラ)、有 山(丸建興業)、野坂(八州建機)、媚山(新潟商事)、根岸(地盤試験所)、飯島(土 木研究所)

欠席:\_\_\_\_、記録:原

### ■配布資料

15-0-1\_既存杭撤去第 15 回議事次第 210311. docx

15-1\_第 14 回既存杭の撤去に関する研究委員会 議事録案 210208. docx

15-2\_既存杭\_目次と第1章\_210317. docx

15-3\_WG1\_ガイドライン案\_20210316.pdf

15-4-1 WG2 第 14 回 Web 議事録(案). docx

15-4-2 既存杭の事前調査 20210317. docx

15-4-3\_第3章 (案) 0317. pdf

15-4-4\_埋戻し方法の評価の比較. docx

15-4-5 SWG3 フォーマット. pdf

15-5-2\_WG3 ガイドライン目次・担当. docx

#### ■議事

- 1. 前回議事録の確認等
  - 1.1 前回の議事録(資料 15-1)【媚山委員】
  - ・日付の修正:2月2日 → 2月1日 に修正。
  - ・議事内容は承認された。
- 2. ガイドラインのはじめに・目次(案)対応構成(資料15-2)【桑原委員長・青木幹事】
  - ・ 青字が事前調査を何処に入れるか、案として3章と5章
  - ・赤字が検討項目や修正項目
  - ・3.2 目次章立てが細かくなった。
  - ・3.3 事前調査をどうするか。
  - ・5章の目次構成は要検討 (全体の構成をながめて、)
  - 1章
  - •1.2 適用範囲

手引きなので適用範囲の定義が難しい。

・1.3 用語の定義

各WGで項目を挙げて欲しい それぞれの章で使用している用語の定義 次回委員会までに項目提示ください。

- 3 章
  - ・3.2.\*の分量が多いので目次の見直しを検討ください。

「既存杭及び埋戻し地盤に関する事前(資料)調査」の位置について

- ・案 1) 3.3.1 ・・・案 1) の場合は、3 章のタイトル変更必要
- ・案 2) 5.0. ・・・設計上の留意事項(5章)に入れるか?
- · 案 3) 5.1 '. · · · 同上
- ・設計時に必要な項目ではないか? ・・・前回打合せ済
- ・2 章より前に必要ではないか? ・・・1 章など
- ・1章の序論として2章にするか。

全体の計画として、全体フローに事前調査も含め何をどの章で説明しているか記載する。 担当はペンディングとする。

表題は、\*\*\*\*調査・計画・・・・要検討

3 章-WG1、4 章-WG2、5 · 6 章-WG3

### 3. WG1 の活動状況 (資料 15-3)

### 3.1 ガイドライン WG1 の進捗状況【三反畑委員】

今回の追加・修正内容の説明

- ・(P4) 赤字が修正箇所
- ・(P21~23) 埋戻し材料と工法を追記
- ·(P27) (3)——···誰が書くのか審議して欲しい
- ・(P28) トラブル事例を追加
- ・(P29) 4章へ移行
- ・(P30~) 6章へ移行
- ・付録 : 「(1) アンケート調査の概要」は WG1 では作っていない。空欄です。

今回の追加・修正内容のへのコメントや意見

- ・(P3) [多滑車工法(ロータリー多滑車工法)]はわかりにくいので、名称検討する。
- ・(P5~12·P21~23) 表の文字が凄く小さい。大きくする。
- ・(P24) リスク評価は"杭抜き"に限定したものにしたい ここでの評価が厳しすぎる(強すぎる)。表 2.4.4.までくらいにして 表 2.2.4 は、"埋戻し方法"と"適用撤去工法"は組合せとなりそう。
- ·(P27) 削除
- ・(P28) 2.5 は、縁切り引抜工法のトラブル ケーシング破砕撤去トラブルは、下の方に少しだけ。 既存根固め部のトラブルも追加して欲しい。 もう少し充実させ、文字を大きく。
  - ・"ケーシング破砕撤去工法 "で、ボイリング注意などまとめる。同じ様式で。 八州建機さんに連絡して記載いただく。

·(P29) 削除

[15-4-4]の資料説明 : 西委員

・表 2.4.4 を作り替えてはどうか。検討ください。

「沈下の程度」は削除する。アンダーライン部分は削除せず残す。

- 一つの表にまとめるのは難しい。
- 2工法(縁切り引抜、ケーシング破砕撤去)に表を分ける。

取り切れるかどうか品質も大切。土屋さんも参画して表を作成して欲しい。

- ・(P5) 2章、表 2-2-1 ・・・「チャッキング工法」を追記する。
- ・(P3) 最近工法が増えているので記載工法の見直しを行なう。

### 4. WG2 の活動状況(資料 15-4-1~5)

### 4.1 ガイドライン WG2 の進捗状況 【古垣内委員】

前回 WG2 議事録の説明

「15-4-2 既存杭の事前調査」の説明

- ・(2) 現地調査を追加 ・・・内容を説明
- ・調査計画-引抜-埋戻し-(出来形)調査-設計-杭施工
- ・1 '(2章)に現3.3 も移動する。計画と調査としてまとめる。
- ・施工中の状況も記載しているが、"撤去孔の調査"とすれば違和感がないのでは。
- ・施工中の試料採取は、品質管理ではないか。
- ・フローの案は、青木幹事がたたき台作成。
- •1-1 全体計画、1-2 調査
- ・可能であれば、前の前の杭も調査した方が良い。引抜いたときのデータは重要。
- ・すでに抜いた杭のデータ収集が必要

「15-4-4 西委員担当分」

- ·(P15~、P24~、P10~、P26 5) を追加修正
- ・4章からの文章を合わせる。

## 5. WG3 の活動状況(資料 15-5-1)

### 5.1 ガイドライン WG2 の進捗状況 【木谷委員】

目次(案)の説明

- ・4.2、4.5 は、3章への移動はせずにこの位置とします。
- ・4.1、4.3、4.4 はほとんど変化無し。
- ・「5章 既存杭に干渉する新設杭の設計上の留意事項」はすっきりまとまってきている
- ・4.5 に全体のまとめ(5)は必要ないか。 ・・・(1)の前に少し記載あり
- ・(15-4-5)6章の試料について

#### 6. その他打合せ事項

・本来は今年度3月末で完了の予定。5月には原稿締め切りと考えている。

夏頃に査読、年内には最低でも出したい。【桑原委員長】

・最小の文字大きさを決める必要がある。基本 A4 でまとまる。

## 6. 今後の予定

・次 回:2021年5月13日(木)14:00~17:00(Web会議) ・次々回:2021年7月8日(木)14:00~17:00(未定)

以上